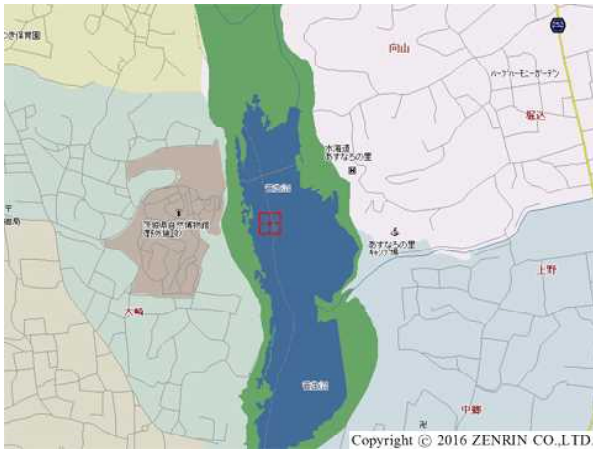


・菅生沼 (43) ・ ・常総市、坂東市

36・0・12N 139・55・10E



1. ハクチョウ類飛来状況 (2011年～2015年)

|         | 2015年 | 2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 5年間平均 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| オオハクチョウ | 11    | 6     | 11    | 8     |       | 7     |
| コハクチョウ  | 400   | 321   | 520   | 446   | 443   | 426   |
| 類合計     | 411   | 327   | 531   | 454   | 443   | 433   |

2. 選定地の状況

茨城県南西部に位置し、85ha、水深 1 m に満たない沼である。上沼・中沼・下沼にわかれヨシ・マコモが生い茂り白鳥にとっては十分に採食可能な環境である。上沼で給餌されているが、多くは自然採食である。

茨城県では珍しく、殆どがコハクチョウであり、オオハクチョウは 10 羽程度。亜種アメリカコハクチョウが混入することもある。多くは上沼で生活し一部が中沼・下沼まで往復するが、30 羽ほどが終日、下沼で過ごす。2 月末には全て飛去する。

上沼はマガモ、オナガガモが多く、特にマガンが入り、ヘラサギが越冬したこともある。飼育種コクチョウが迷入したこともある。

(選定協力員 菊池 昶史)

・大塚池 (18) ・ ・水戸市

36・23・3N 140・24・6E



1. ハクチョウ類飛来状況 (2011年～2015年)

|         | 2015年 | 2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 5年間平均 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| オオハクチョウ | 135   | 181   | 193   | 174   | 210   | 179   |
| コハクチョウ  | 1     | 3     | 11    |       | 5     | 4     |
| 類合計     | 136   | 184   | 204   | 174   | 215   | 183   |

2. 選定地の状況

国道 50 号沿い水戸市の住宅街の大塚池公園にあり、コブハクチョウ・コクチョウが給餌飼育されている。1970 年代、古徳沼経由の白鳥が飛来するようになり、2000 年頃には 200 羽ほどになった。公営給餌のほか、市民有志による給餌も多く、水鳥達はほとんどが給餌にたよっている。一部の白鳥は、水草のある池や水田に出て採餌することもある。

10 月中旬に飛来、3 月に古徳沼経由または直接、飛去する。近年、帰北が 4 月上旬までもつれこむようになった。

ヒドリガモ、オナガガモ、キンクロハジロ、オオバンが多くハシビロガモが増えてきた。ユリカモメが時に 100 羽を超えることもある。

(選定協力員 菊池 昶史)

・水戸市南西部水域（46）・・水戸市

36・20・40N

140・23・54E



弁天池 1



弁天池 2

(写真提供 小曾納久男氏)

1. ハクチョウ類飛来状況（20011年～2015年）

|         | 2015年 | 2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 5年間平均 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| オオハクチョウ | 165   | 166   | 124   | 156   | 160   | 154   |
| コハクチョウ  |       | 44    | 59    | 68    | 30    | 40    |
| 類合計     | 165   | 210   | 183   | 224   | 190   | 194   |

2. 選定地の状況

水戸市南西部に弁天池・小吹池・清水沼・二ツ池（笠間市）などの溜池がある。1970年代から古徳沼・大塚池を経て白鳥達が移動・分散するようになった。それにつれて地元有志による給餌がなされるようになった。

定時給餌している弁天池が最も多く100羽以上を数えるが、日中、水田に出て採食することも多い。次いで二ツ池が50羽程度。そのため溜池は必ずしも定着せず大塚池などとの交流がある。

茨城県では菅生沼に次いでコハクチョウの多い水域であり、清水沼だけで100羽を超える事もある。なお、この清水沼は毎年ヨシガモ、オカヨシガモが、それぞれ20羽程度越冬する。

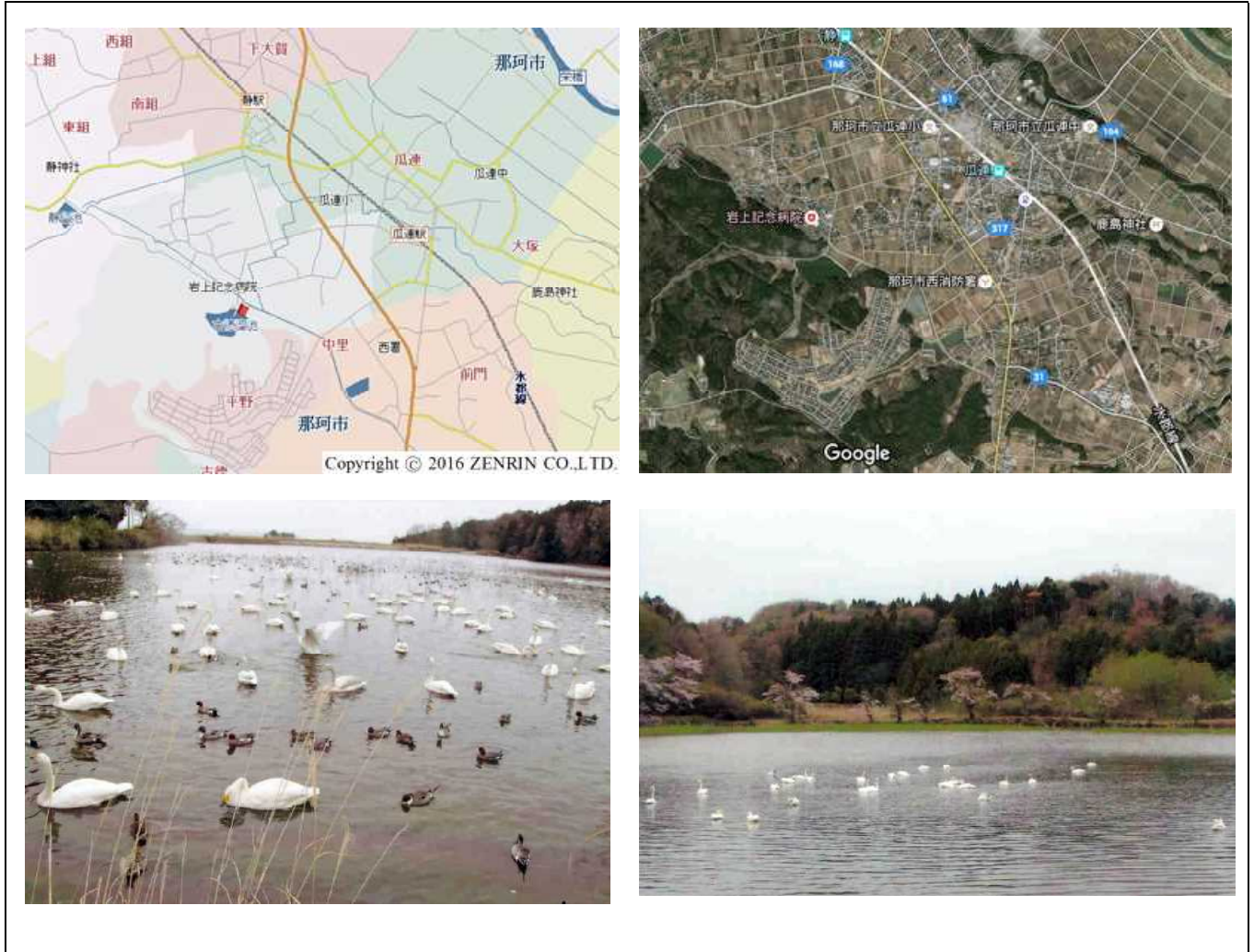
白鳥は、11月分散飛来するが12月になってから増加し、3月中旬にはほとんどいなくなる。

(選定協力員 菊池 昶史)

・ 古徳沼 (15) ・ ・ 那珂市

36・40・57N

140・26・43E



1. ハクチョウ類飛来状況 (20011年～2015年)

|         | 2015年 | 2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 5年間平均 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| オオハクチョウ | 89    | 64    | 86    | 103   | 48    | 78    |
| コハクチョウ  |       | 2     | 18    |       |       | 4     |
| 類合計     | 89    | 66    | 104   | 103   | 48    | 82    |

2. 選定地の状況

水戸市に北接する那珂市郊外の農業用水の溜池 (3ha) である。1966年オオハクチョウ 3羽が初飛来。3年目に給餌についた。1977年、ガン・白鳥が茨城県まで多数南下、古徳沼にもオオハクチョウ 70羽、マガン 16羽、ヒシクイ 4羽が入った。以来、古徳沼のオオハクチョウは、100羽を超え、近隣の溜池を含めるとハクチョウ類は 300羽以上になった。以後、給餌を求めてさらに南下したり、東日本大震災で溜池が決壊するなどで漸減し、古徳沼は 100羽未満のことが多い。10月末に飛来するが定着するのは、12月になってからである。3月中～下旬に飛去するが、4月になることもある。越冬するカモ類は、種・羽数ともに多くアカハジロが飛来したこともある。カワウが杉林で繁殖し、樹木の枯死被害が出るようになった。

(選定協力員 菊池 昶史)